

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年1月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670200544
法人名	有限会社 川内介護福祉会
事業所名	グループホーム 川内森の里
所在地	鹿児島県薩摩川内市中郷町6956番地49 (電話) 0996-27-6568
自己評価作成日	令和2年12月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年1月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・利用者様、一人ひとりのADLの把握に努めできる事の継続を目標に自立支援に取り組んでいます。特に排泄ケアでは、入所時にはオムツ使用やリハビリパンツを使用していた方も排泄パターンやトイレ誘導を行い布パンツ使用になるなど排泄の支援に取り組んでいます。

・新型コロナウイルス感染予防対策により面会の制限中も、ご家族の支えを得ながら感染予防対策を実施した上で柔軟に面会の機会を設けたり電話や手紙などご家族に協力を得ながら利用者様が不安にならないよう取り組んできました。

・日頃のレクリエーションも拘縮予防などを取り入れながら、楽しく体を動かせるよう取り組んでいます。

・季節を感じられるような献立のメニューやクリスマスケーキ作りなど一緒に楽しめる機会を作っています。

・当事業所はコロナ感染防止の為、自治会を始めとする地域との交流は困難な状況であるが、託児所の子供も達が作ったポスターを届けてくれたり、小学校の運動会見物に出かける等、機会を見て交流に努めている。

・家族の面会を自粛していたが、窓越しの面会や事務所での面会を可能にして、毎月事業所から家族へ「森の里便り」に職員のコメントを添えて利用者の近況を報告しており、家族との関係が途切れないように取り組んでいる。

・代表者・管理者は、職員が働きやすい環境作りに努めており、離職率が低く、職員間のコミュニケーションも良好な職場である。

・職員は、排泄ケアに積極的に取り組み、リハビリパンツから布パンツへの改善事例もあるなど、利用者の残存機能の維持と生活の質の確保に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所内の目につくところに掲示し申し送り時や会議の際は必ず理念を読み上げ意識づけができるように努めている。</p>	<p>理念はホールの壁に大きく掲げ、利用者も自然に読み上げている。パンフレットにも掲載し、理念を申し送りや会議時に唱和し、全職員が共有してケアに当たっている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に加入し、生き生きサロンや運動会やバザー等への地域行事の参加やボランティアの受け入れで地域との交流を図っている。</p>	<p>自治会に加入しているが、コロナ感染症の影響で近くの公民館での生き生きサロン等の活動が自粛となっている。小学校の運動会見物に出かけたり、託児所の子ども達から手作り作品を贈られる等、交流を楽しみにしている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>運営推進会議では、認知症の方のケアの仕方や身体拘束廃止への取り組みなどの取り組みを報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>事業所の報告や外部評価及び実地指導など結果報告などを行い意見交換している。また、災害時期では避難訓練を運営推進会議内で行い地域の方にも参加して頂いている。</p>	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議は書面開催となっている為、各委員とは、資料等を持参した際に事業所の状況を説明すると共に意見交換を実施しており、コロナ感染症予防の取り組み等の情報も発信している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>分からない事や不明点があれば電話や出向き相談やアドバイスを頂きながら協力関係を構築できるよう努めている。</p>	<p>市の担当者とは、日頃から電話や出向いてこまめに報告や相談を行ない、連携を密に図っている。市のリモート会議での研修会や新型コロナウイルス対策情報交換会に参加し、情報収集に努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルに沿って、年4回ケース会議や推進会議を利用して研修会を実施している。日々のケアが身体拘束に当たらないか振り返りを行い日々配慮している。日中は施錠せず、見守り行い職員が付き添い散歩などに行かれ見守っている。</p>	<p>委員会及び研修会を年4回マニュアルを基に実施している。優しい言葉かけやケアを心がけ、身体拘束の事例を検討し確認している。不適切な言葉は職員間で注意し合っている。玄関は施錠せず、外出希望者には一緒に洗濯物を干したり畑の野菜を眺めたりして、行動を制限しないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>身体拘束や虐待についての研修を行いケアを振り返る機会を設けている。皮下出血等の発見もヒヤリハット報告を行い原因について話し合い再発防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>グループホーム協議会や、市主催の研修会へは積極的に参加するように努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時の契約の際に利用者様のご家族に十分な説明を行い理解や納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日頃の利用者様の会話や要望を家族に伝え協力を得ながら支援している。個別遠足ではご家族と遠足へ行かれた利用者様もおられました。</p>	<p>利用者には日々の生活について個別的に要望等を聞いている。家族には、便りで現況報告や写真などを送付し電話や面会時に要望等を聞いて対応している。要望を受けて窓越しの面会や事務所での面会を実施したり、利用者の精神安定を図る為に個別遠足や家族と外食に出かけたこともある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見や提案を聞く機会(申し送りやケース会議)を設け自由に発言ができるように努めている。</p>	<p>会議で職員の意見を聞く機会を設けており、医療面・一般と記録し、出勤したら確認し業務に入るようにしている。出された意見等は申し送りで共有している。働きやすい職場をめざしている。職員間の情報伝達にLINEも活用している。個別相談は代表者・管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・代表者は日頃の職員の勤務状況や努力や実績などを把握しながら職場の環境整備を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員一人ひとりの能力や力量を把握し、無理のないよう段階的にできることを増やせるよう聞き取りをしながら教育に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防対策のために研修自体が少なくなったがWEBでの会議に参加し意見交換や情報交換ができるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に本人様と面談を行い介護以外での話題や興味のある話題などを共有し安心して話ができるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所の問い合わせがあった場合は見学もできる旨伝え、施設や料金など説明行い納得して入所頂けるよう取り組んでいる。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>何が必要な支援なのかを本人や家族と確認している。また、まだできることも伝え利用者様にも自信が持てるよう働きかけている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様のできる範囲での家事を依頼したり、他利用者様の世話など自分が役に立つ機会を作りながら感謝の意を伝え信頼関係の構築に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所時に家族にしか出来ない支援があることを伝え、協力を得られるよう努めている。電話や手紙での支援や遠足の同行も協力頂けた事例もある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルス感染予防として面会に制限があったが、できるだけ面会を安全にできるよう感染予防対策を実施した上で行っている。	コロナ感染防止の為、面会を自粛していたが昨年9月から電話や窓越しだけでなく事務所での面会も実施している。毎月、便りと近況を記入し家族に送付したり、ドライブ途中に自宅に立ち寄ることもある。家族との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格や関係を把握し席替えをしたり、話をしやすい環境に努めている。トラブル時もスタッフが早めに介入している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も、職員が面会を行ったりご家族様が立ち寄ったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の会話や個別ケア時にコミュニケーションを図り言葉や表情から思いや意向の把握に努めている。	レクリエーション時や個別ケア・夜間等の話しやすい雰囲気の中でゆっくりと会話しながら今の気持ちや要望を引き出し思いを把握するように努めている。コミュニケーションが難しい利用者には、しぐさや表情で判断し、家族からの意見も聞き、これまでの関わりの中で得た情報から本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	昔のエピソードは覚えている利用者様は多く生活歴を把握したうえでレクリエーション時に回想や話題作りに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の選択を尊重し、声掛けを行っている。選択肢を広げながら有する力が発揮できる機会を作れるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入所時は3ヶ月毎に見直しを実施。その後は6ヶ月マニにモニタリングを実施し見直しを行っている。入院後も状況が変化した際は都度介護計画を作成している。	本人や家族の希望を聞き、ケース記録及び申し送りノートの情報を参考に主治医からの意見も聞き、職員で話し合い介護計画を作成している。6ヶ月毎にモニタリングを実施し、計画を見直している。状況の変化時にも見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や発言など記録に残している。また、ケア記録と看護記録に分けて職員の情報の共有ができやすいよう取り組んでいる。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	月に1回のケース会議では一人ひとりのケアの仕方や柔軟な支援ができないか職員間で話し合いアイデアを出し合っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	例年だと生き生きサロンの参加やボランティア依頼など社会資源を活用し楽しみを提供していたが新型コロナウイルス感染予防の為に今年実施されていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所してからも、主治医を変更することなくかかりつけ医を優先している。また往診希望などがあれば協力機関などに相談行いできるだけ対応できるように支援している。	契約時に本人・家族の希望するかかりつけ医を確認し、家族の協力も得て受診を支援している。協力医やかかりつけ医の往診もある。受診は職員が付き添っている。受診や往診後、家族に報告を行い、適切な医療をうけられるようにしている。事業所看護職員による健康管理が行われ、医療連携体制も築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日々の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師や職員が日頃の関わりの中で健康状態の変化や異変に気づき緊急性が高いか判断し適切な医療が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した場合、病院の相談員の方と連絡を取り合い状態が安定したら受け入れができるよう支援をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化した場合や終末期について説明を行い同意を得ている。重度化した場合は状況に応じて主治医と話し合いを行っている。また、要介護度3になった場合は特養の申し込みが可能である説明を行っている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の説明を行い同意書を得ている。重度化等の時は家族と主治医とで段階的に話し合い、特別養護老人ホームなど紹介したり、状況の変化とともに話し合いを重ね対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の連絡体制や対応等ケース会議の中で確認している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防訓練を昼夜に分けての想定で実施している。例年は運営推進会議の中で避難訓練を実施していた。</p>	<p>毎年、年2回の消防訓練を昼夜想定で消防署からの指導を受けていたが、今年は内部のみの自主訓練を行い、避難場所の確認や消火器の取り扱いを訓練している。水害は敷地が高台にあり施設内にとどまる方がいいとの消防署との話し合いで決めている。災害時の備蓄は、水・米・ラーメン・缶詰・菓子・黒砂糖等を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>特に排泄ケアや入浴ケア時は言葉かけの工夫やプライバシーに配慮したケアを意識している。</p>	<p>人格の尊厳に心がけプライバシーを守り、援助の主体者は誰なのかをいつも振り返り、馴れ合いにならないように支援している。ミーティング時に話し合い、さん付けでの呼びかけ、排泄介助や入浴介助時のさりげない声掛けや羞恥心に配慮している。特に排泄の失敗時は誇りを損ねない言葉かけと対応に努めている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>できるだけ希望に応じられるように努めている。応じることで利用者様と職員の信頼関係作りにもなっている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ケアや活動を促す場合は表情や意見を必ず伺い自己決定して頂いている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>定期的にビューティーヘルパーを依頼しカットや髪染めができるようしている。また、化粧品の購入なども代行して行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>季節を感じられる食材などを使用し行事ごとに料理に工夫をしている。食事の盛り付けなども職員と話をしながら行いコミュニケーションの場にもなっている。</p>	<p>敷地内にある畑で収穫した野菜を食材に使ったり、季節の行事食は器も工夫している。利用者と一緒に盛り付けや筍・つわなどの皮むきを一緒にして食事を楽しみにしている。調理師を配置し、口腔体操や口腔ケアを毎日実施し、自分でおいしく食べられるように支援している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量、水分摂取量の把握を行い水分摂取が少ない場合は嗜好に応じた飲み物を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>月に1回歯科往診依頼し希望者や治療が必要な場合対応している。できるだけ自己にてケアをして頂きできない部分のみ介助するよう心がけている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し必要に応じて声掛け促しトイレでの排泄ができるよう支援している。またオムツ使用から布パンツ使用になった事例もある。</p>	<p>日中はトイレでの排泄を基本に支援しており、個々の排泄パターンに応じて声掛けをしている。さりげなく優しく声かけしてトイレ誘導をしている。リハビリパンツから布パンツ使用に改善した事例もある。夜間にポータブルトイレ使用者もいるが、トイレ誘導で支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	緩下剤のコントロールだけではなく、水分や運動の促しを行っている。また、トイレでの排泄ができるようこまめにトイレ誘導を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には午前中であるが、本人の体調や希望に沿って延期したり柔軟に対応している。拒否がある場合は声掛けに工夫したり時間を調整したり状況に合わせて努めている。	週3回午前中の入浴を基本に実施している。希望や保清の必要時には柔軟に対応している。ゆずやぼんたん湯を楽しんでもらうこともある。嫌がる場合はタイミングを見て声かけしたり、職員を交代したり、無理強いをせず声掛けを工夫して支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	活動時は声掛け行い疲れた場合は休息できるよう配慮している。また、午睡希望があれば休めるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋はすぐわかるようファイルしている。また、変更があった場合は医療申し送りノートに記入し情報の共有ができるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>園庭には、季節の野菜を植えて一緒に世話や収穫を楽しんでいる。個別での遠足も実施した。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防対策のために外出が以前のようにできなくなったが、遠足の際に自宅へ立ち寄ったりとできる範囲での希望を叶えられるよう家族と協力しながら支援している。</p>	<p>日常的に近隣の散歩や敷地内にある畑の野菜の手入れや収穫で戸外に出ている。庭でのお茶も行っている。庭の桜や梅の花見物・希望でドライブで自宅付近に行ったりしている。コロナ感染症の影響で家族との外出も困難な状況であるが、可能な限り支援に努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の希望があれば、職員と買い物に出かけて購入している。「お金がない」と不安になる利用者様にはお小遣いを預かっている旨伝え安心できるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様から希望があれば、家族へ連絡行い話をする事で安心できるよう家族へも働きかけて協力を得ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日頃過ごすホールは明るく、窓際にソファを配置し外の景色が眺められるようになっている。壁には利用者と職員で作った作品や思い出の写真を飾り思い出させる工夫も行っている。	広い共有空間は全体的に木造作りで過ごしやすい。日当たりが良く換気も十分行い、窓も多く明るい。加湿器や空気清浄機を使用して気持ち良く過ごせるように調節している。飾りつけは利用者と共同で制作したものや外出時の楽しそうな写真などが掲示している。窓際のソファで日光浴をしたり、ゆっくりくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日の当たる場所にソファを設置し各々が自由な空間で過ごせるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に、家族に使い慣れたものや安心する物を持ち込んで頂けるよう家族に働きかけている。	居室にベッド・タンスを設置し、寝具はリースである。加湿器や空気清浄機を必要に応じて持ち込み、本人の使い慣れた毛布・タオルケット・ぬいぐるみ・化粧品・家族写真を身近に置いて、自宅と同じように配置し、くつろげるようになっている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	目のつくところにカレンダーを設置したり、新聞や週刊誌などもいつも手の届くところに用意している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない